Next-V2X 取扱説明書 ver.3.1

Next- V2X



目　次

1. 注意事項 ････････････････････････1
2. 製品機能及び特徴 ････････････････2
3. 製品構成 ････････････････････････3
4. 製品仕様 ････････････････････････4
5. 各部名称 ････････････････････････5
6. 設置手順及び方法 ････････････････6
7. Next-V2X 専用ビューアー
(1) ビューアーのインストール ･･････12
(2) ビューアーの説明 ････････････13
(3) 分割ボタンの説明 ･････････････16
(4) 各種設定ボタンの説明 ･････････17
8. 設定値変更 ･････････････････････24
9. アップグレード設定･･････････････････25
10.使用時の注意事項 ･･････････････････26
11.こんな時には ･････････････････････28
12.参考事項 ･････････････････････････29
13. 製品保証書 ･･････････････････････33

注 意 事 項



車内を清掃する際に、
水または揮発性薬品で
本機を掃除しないで
下さい。
（本機が破損して
火災及び感電の原因
となることがあります。）



本機にSDHCカード
以外のものを挿入
しないで下さい。
（本機が破損して
火災及び感電の原
因となることが
あります。）



本機を分解又は
改造しないでください。
（誤った使用による
故障等について
当社は責任を
負いません。）



本機を調整する時は
必ず車を停止して
下さい。



直射日光はなるべく
避けて下さい。
（誤作動や故障の
原因になります。）



SDHCカードの抜き差しは
本機の電源が切れている
事を確認して行って下さい。
（本機及びSDHCカード
が故障する恐れが
あります。）



カメラのレンズに
ほこり、汚れ等が
付着しないように
注意してください.

※ 車内に他の電子製品を
設置する場合は、
なるべく本機から遠くに
設置して下さい。

製品機能及び特徴

Next-V2Xは、最新の圧縮方式 H.264をベースとした鮮明な画質で、
前方と車内の2方向を同時録画し、運転中の車体への衝撃、オーバースピード等、
もしもの場合の状況を鮮明な動画及び音声で保存するドライブレコーダーです。

◆ 連続録画機能

走行の中に車前方と車内部の映像を連続録画します。
録画速度、録画画質は簡単に調整することができます。
録画速度 – 最大 60フレーム(チャンネル当たり 最大 30 フレーム)
録画解像度 – VGA (640 x 480)
圧縮方式– H.264

◆ イベント録画機能

連続録画の中にイベントが発生時、イベントは設定された値で録画されます。
(ユーザーが設定変更可能)

イベントの種類ー緊急(緊急ボタン作動時)
衝撃(車に物理的な衝撃があった時)
オーバースピード(速度がユーザーが設定した一定速度以上になった時)
急加速
急減速

イベントの録画時にはイベント(緊急ボタン作動時、衝撃、オーバースピードなど)
発生直前(2～6秒)、発生直後(2～30秒) の映像データが保存されます.

◆イベント検索機能

検索したいイベントのみを表示させることができます。

◆ 映像及び音声、速度及び位置データの分析機能

SDHCカードに録画されたデータは、PCにインストールした専用の映像ビューアーにて
映像の再生と同時に速度及び位置が地図の上に表示されます。

◆ 夜間撮影

夜間には、製品に内蔵した赤外線 LEDが車内部を照射します。
(周辺環境、車種によって車内部の明るさが違うことがあります)

◆緊急事態発生の外部通報

製 品 構 成



Next−V2X本体


ブラケット


GPSケーブル


電源ケーブル
（アクセサリー電源ケーブル）


外付緊急ボタン


設置ガイド/
インストールCD



8GB SDHCカード

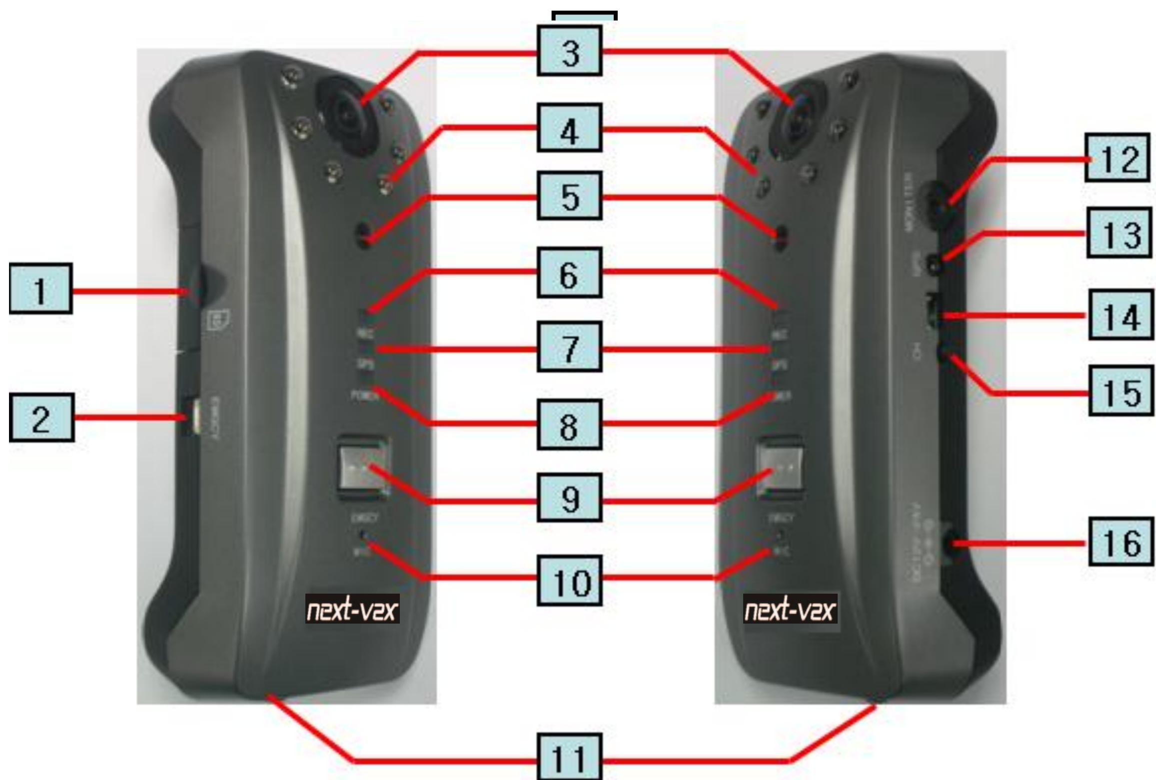

モニターケーブル

製 品 仕 様

Next-V2X 仕 様	
カメラ	2EA CMOS カメラ内蔵
Video Input	2 チャンネル [Digital] 内蔵
音声録音	C-MIC 内蔵
ビデオ　圧縮方式	H.264
オーディィオ圧縮方式	ADPCM
録画解像度	VGA (640 X 480)
録画速度	最大 60fps (各 チャンネル当たり 最大 25fps)
緊急ボタン	緊急状況検知、録画
GPS	オーバースピード、急加速、急減速 各検知、録画
G-Sensor	衝撃検知、録画
保存メディア	SDHCカード (最大 32GB、標準 8GB)
画角	前方 : 基本 120° 室内 : 広角 175°
IR LED (室内用)	850n 6個 IR LEDと CDS Sensor 内蔵
ビューアー	Next-V2X 専用の映像ビューアー(Windows XP / 7 サポート)
電源	DC 12V ～ 24V
作動温度範囲	0℃ ～ 45 ℃ （保存温度範囲: -25℃ ～ 85℃)
作動湿度範囲	10 ～ 95% (40℃で)
サイズ	65 (W) X 140(D) X 30(H) mm
重さ	150g

本取扱説明書の内容は性能向上のために事前予告なしに変更することがございますので、ご了承下さい。

各 部 名 称



1	SDHCカード挿入口	9	緊急ボタン
2	緊急ボタンケーブルポート	10	マイク
3	室内カメラ	11	前方カメラ
4	赤外線 LED	12	モニターケーブルポート
5	CDS センサー	13	GPS ケーブルポート
6	録画 LED	14	外部SDカード リーダー機ポート
7	GPS LED	15	チャンネル変換スイッチ (モニターケーブル連結時)
8	電源 LED	16	電源ケーブルポート

設置手順及び方法

設置及び確認方法

1> 本体に SDHCカードを挿入します。
（あらかじめ専用ビューワーにて各値を設定してください。）

▼

2> SDHCカードが挿入された本体と GPSが内蔵された取付台を取り付けます。取付台の GPS ケーブルを本体の GPS ポートに差し込みます。
(7 頁を参照)

▼

3>取付台の外側の粘着テープを剥がして車のフロントガラスの適切な場所に貼り付けます。(8 頁を参照)

▼

4>本体の電源をシガーソケットに差し込みます。
(REC LED が点灯すれば正常に録画が始まります。)

▼

5>車のエンジンをかけ、作動を確認します。

▼

6>運転後、必ず電源が完全にOFFになったことを確認してから、SDHCカードを取り出します。PCに接続して専用映像ビューアーで再生することにより、録画記録を確認することができます。
(NEXT-V2X専用ビューアー説明を参照)

注意事項

・設置は必ず安全な場所に駐車した状態で設置して下さい。
必ず本機の設置が完了してから、最後に電源を入れて下さい。

・本体が起動した後、(ファームウエアのアップグレードの時も含んで)、
“ビーッ“という音が聞こえた場合は、5分間は電源を切らないで下さい。
(SDHCカードが破損する恐れがあります。)
・電源はシガージャック(DC12V ～ DC24V)にだけ接続して下さい。

設置手順及び方法

設置方法

1> 本体 :本体に SDHCカードを挿入
（あらかじめ専用ビューワーにて各値を設定してください。）



- 本体に左側の図のように SDHCカードを挿入して フタを閉じます。SDHCカードを挿入せずに電源を 入れると、"ビーッ"という音がしてデータ保存されません。
- SDHCカードを取り出す場合は、電源が完全に 切れていることを確認してからフタを開けます。 指で強めにカードを押すとSDHCカードを取り出すことが できます。

注意事項(参考事項 31頁を参照)



SDHCカードは製品に同封された物のみを使って下さい。
他のSDHCカードを使用した場合、誤作動の原因になることが
あります。

SDHCカードを無理やりピンセットや爪で抜き取る場合、
本機及びカードの故障となる場合がありますので、
ご注意下さい。

誤作動が発生した場合、SDHCカードをPC等で一旦初期化すると
正常に使用できる場合があります。

設置手順及び方法

設置方法

3>車のフロントガラスの適当な位置に本機をセットし、貼り付けます。
（推奨設置: 下の写真を参照 ）




注意事項

・車内にラジオアンテナ(ガラス接着型)、カーナビゲーションシステム等がある場合、本機のGPS受信率に影響を与えることがあります。

・地域によって GPSの受信時間に多少差がある場合があります。

4> 本体に電源を取り付けます。




✓ 本体の側面に電源ケーブルポートに電源ジャックを挿入します。
電源ケーブルは必ず同封されたケーブルを使ってください。

設置方法

5> 電源ケーブルを取り付けについて

ヒューズ電源ケーブルを取付ける際は取扱詳細を確認下さい。

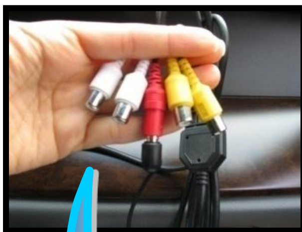
✓ 電源ケーブルを取り付けた後、
車のキーをONにすると電源が入り、本機が起動
します。POWER、RECのLEDが点灯している事を
確認してください。

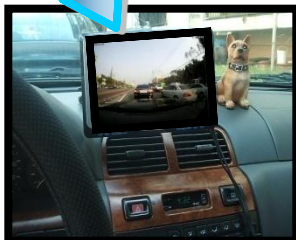
✓ GPS LEDは正常な位置情報を受信した時に
点灯します。

注意事項

本体が起動した後、(ファームウエアのアップグレードの時も含んで)、
“ビーッ“という音が聞こえた場合は、5分間は電源を切らないで下さい。
（SDHCカードが破損する恐れがあります。）

※ Next-V2Xのリアルタイム映像の連結方法





✓ 付属のモニターケーブルを Next-V2X モニターポートに
差し込みます。

✓ モニターケーブル端子を車に設置されたナビゲーションや
その他のディスプレイ機器の “Video INPUT” 入力端子に
差し込みます。

✓ CVR V2 右側面のチャンネル切替ボタンを押すと、
前方や室内のリアルタイムで保存される映像を見ることが
できます。

※ ディスプレイ機器の入力端子は必ずディスプレイ機器に付属の入力端子を使用して下さい。

※ 一部のディスプレイでは映像が見えないこともあります.

設置手順及び方法

設置方法

※ 起動時の本体LED表示

＊電源をオンにして、起動するのに約30秒かかります。

電源をオンにすると、一旦表面の3個のLEDが点灯します。
そして一旦、短い「ビッ」という音と共に全て消灯し、録画する準備の状態に入り、上下のLEDが点灯し、録画が始まります。

録画が始まり、GPSを受信し始めたら、表面の3個のLEDが全て点灯した状態になります。



設置方法

※ 緊急ボタンの取り付け





✓付属の緊急ボタンケーブルを Next-V2X 本体の緊急ボタンケーブルポートに差し込んだ後、運転席部の適当な位置に設置して下さい。

※ 本体の LED ランプの機能



✓ **REC : 赤色**

（録画作動可否）

– 正常に録画されている時は、常に点灯しており、イベントが発生した場合は設定時間中点滅します。

✓ **GPS : 緑色**

（GPS 受信可否）

–正常に作動している時は、常に点灯しており、受信ができない場合は点滅します。

✓ **POWER : 赤色**

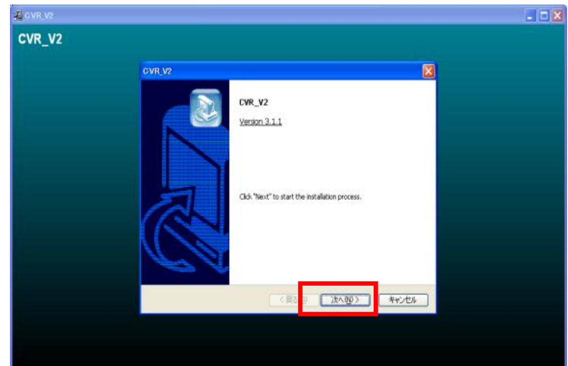
（メイン電源を表示）

– 電源が入っている時は、常に点灯しており、電源が切れた場合は“ビーッ”という音が鳴り、同時に点滅しながら消えます。

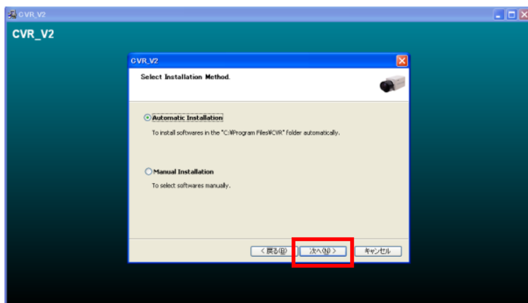
1. 専用ビューアーのインストール

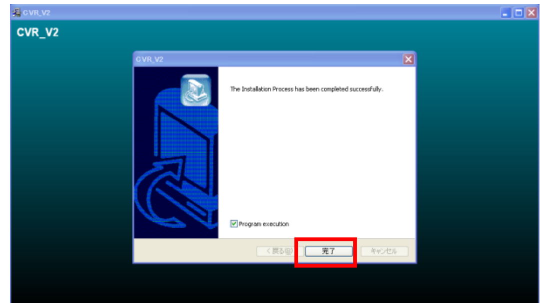
＊このビューアーは、録画前に録画時各値の設定、
及び録画後の再生の際に使用します。

1. 付属のCDに保存されている
"Next-V2X(x..x.x).exe"ファイルを
ダブルクリックして
開きます。



2."標準インストール"を選択後、"次へ"をクリックして"完了"をクリックします。





3. インストールが完了すれば、デスクトップ画面に Next-V2X ショートカットアイコンが
作成されます。



2. ビューアー説明

1. ユーザー IDとパスワードを入力するとビューワーが開きます。
（初期時はパスワードなし）



◆ メイン画面



1	イベント検索	8	再生速度の調節ボタン
2	最小化ボタン	9	「ファイル開」ボタン
3	CVR V2 ビューアー終了	10	静止画保存ボタン
4	ファイルリスト窓	11	設定ボタン
5	チャンネル選択ボタン	12	映像バックアップボタン
6	各種の再生関連ボタン	13	ボリューム調節ボタン
7	速度メーター	14	Google マップ

2. ビューアー説明

◆ 各ボタン



1	イベント検索ボタン	5	「ファイル開」ボタン
2	最小化ボタン	6	静止画保存ボタン
3	プログラム終了ボタン	7	設定ボタン
4	各種の再生関連ボタン	8	映像バックアップボタン

✓ 各種の再生ボタン

	フレーム当り巻戻し		逆再生ボタン
	ポーズ		再生ボタン
	フレーム当り早送り		1分割(チャンネルスイッチ可能)
	2分割		1番/2番 CH同時選択ボタン

2. ビューアー説明

◆ ① 再生リスト

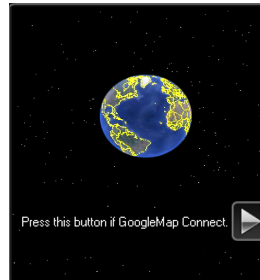
Next-V2Xビューアーは右側中央に録画されたファイルが各イベント別にリスト化され
"普通 "、"緊急"、"衝撃"、"オーバースピード"等イベント別に検索することが
できます。

リスト化されたファイルは基本的に年/月/日/時/分/秒/イベント名に表示されます。

◆ ② 地図ビュー

録画された映像を再生すると同時に車の運行位置が地図の上に表示されます.
2種類のMAPで表示することができます。
Next-V2X ビューアーを起動するPCがインターネットに繋がれていることが条件です。
(Googleマップと連動します。)

1. Next-V2X ビューアーを起動して
地図を見る場合、地球儀下端の
Google マップ連動ボタンをクリック
してください.





2. 右記の図は、パソコンがインター
ネットに繋がれていない場合に
表示されます。







3. 分割ボタンの説明

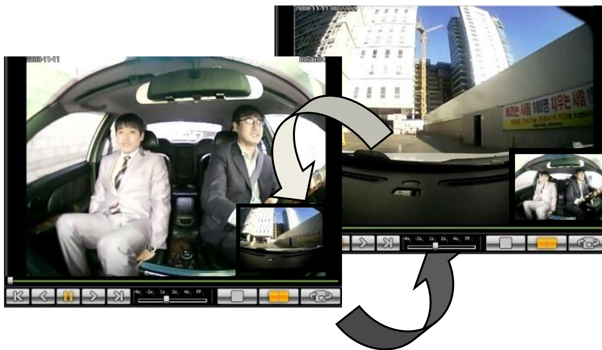
◆ 一分割再生



◆ 二分割再生



◆ 1番/2番 同時再生ボタン



◆ 全体画面表示(基本解像度 1024 x 768 以上推奨)
映像再生画面の上でマウスの左側ボタンでダブルクリックしてください。



画面をダブルクリック!!



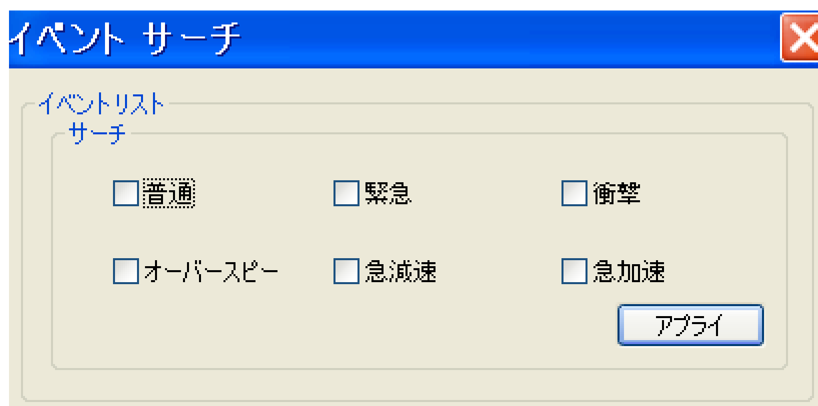
4. 各種設定ボタンの説明

◆ イベント検索

上記のイベント検索ボタンを押すと映像が止まり、イベント検索ボックスが開きます。

検索したいイベントの前のチェックボックスをチェックしてアプライ(適用)ボタンを押すと、チェックしたイベントだけリスト化され、再生リストに表示されます。

但し、元のリストに表示されていないイベントを選択した場合は、下記の警告表示が表示されます。





存在しないイベントを選択した時、警告ウインドウが表示されます。

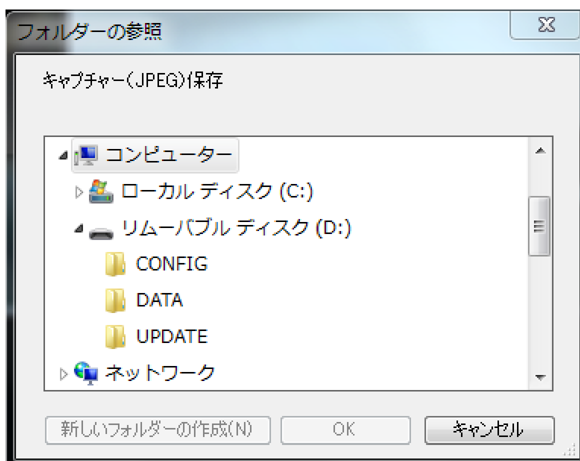
4.各種設定ボタンの説明

◆ **開く** : 録画映像が保存されているファイルを選択して再生します。

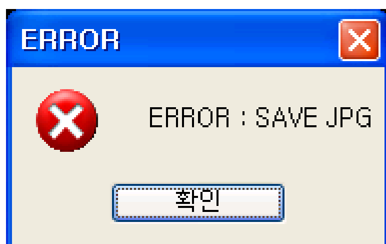


例) SDHCカードの
映像データ確認

◆ **保存** : 映像再生中に保存が必要する場合、ボタンをクリックすると静止画(*.JPG)で保存されます.



例) 保存したい場所を選択後、
保存します。



例) 再生映像がない場合に保存ボタンを
押すとエラーウインドウが表示されます。

4.各種設定ボタンの説明

◆ **設定** : 設定変更や確認時に
選択します。

1. システム



設定値を変更する際には、**25ページ**を よく読んで下さい。

① カメラ設定 : 内/外部カメラの平常時の録画フレームとイベント発生時の
録画フレーム数を設定します。
＊ 普通 – 通常の録画フレーム数です。
＊ イベント – 衝撃、オーバースピード、急加速、急減速、緊急のイベント発生時の
録画フレーム数です.
＊ 画質 – 録画画質を最高 / 高 / 普通 / 低 / 最低の5段階で設定変更ができます。
(SDHCカードの保存容量と関連します。)
▸▸ 基本値 : 普通 15、イベント 20、画質　高　です。
▸▸ 最大値 : 普通 30、イベント 30、画質　最高　です。
▸▸ 画質が高以上の場合、普通は20フレームまで設定ができます。
※ 設定時、いつもイベントが一般のフレーム数より高くなければなりません。

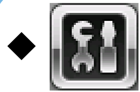
② オーディオ : 運転中、音声入力の有無を設定します。

③ 保存方式 : ＊ 一度–保存メディアのSDHCカードの容量がいっぱいになれば
それ以上録画しません。
＊ 循環–保存メディアのSDHCカードの容量がいっぱいになると
最初に戻り上書きして録画します。

④ 標準時間帯 : 国別の時間を設定します。

⑤ ビューアー : ビューアー上の速度表示選択ボタンです。
※ 注意 : 速度表示はGPS時間と連動しているので、正確な時間設定をしなければ
正確な速度表示をすることができません。
本機を設置する場合には、必ず正確な時間設定を確認して下さい。

4.各種設定ボタンの説明

◆  **設定** :設定変更や確認時に選択します。

2. イベント



① イベント : 緊急 / 衝撃 / オーバースピード / 急減速 / 急加速等のイベントを検知します。

② フレーム : 両方カメラ1フレームで設定することが条件です。

- イベントの前の録画 : イベントの前の録画 2～6秒 設定変更ができます。
- イベントの後の録画 : イベントの後の録画 10～30秒 設定変更ができます。

③ オーバースピード設定 : オーバースピード設定速度を設定します。

④ 衝撃 : 衝撃の感度は G-センサー(衝撃センサー)によって検知されます。

3. ユーザー設定 : 車、ドライバー、本機のシリアル番号情報を保存します。
再生画面の左上に表示されます。

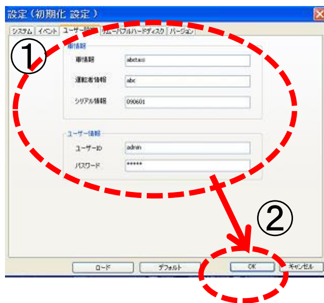


1.車種情報
2.運転者名
3. 製品シリアル番号
4. Next-V2Xビューアーuser ID
パスワード

4.各種設定ボタンの説明

◆ **設定** :設定変更や確認時に選択します。

3. ビューアー設定の仕方



1. SDHCカードをPCに読み込ませ、ビューアーを起動する。
2. 設定画面のユーザー設定画面を開き、
車種情報等を入力し、SDHCカードに保存します。



3. V2本体にSDHCカードを差し込み、起動します。
（録画映像には入力された設定が反映されます。）

4. V2本体からSDHCカードを取り出し、
PCに読み込ませます。

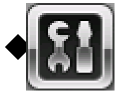




5. ビューアーを起動し、SDHCカードを開くと、
再生画面左上に入力した情報が表示されます。



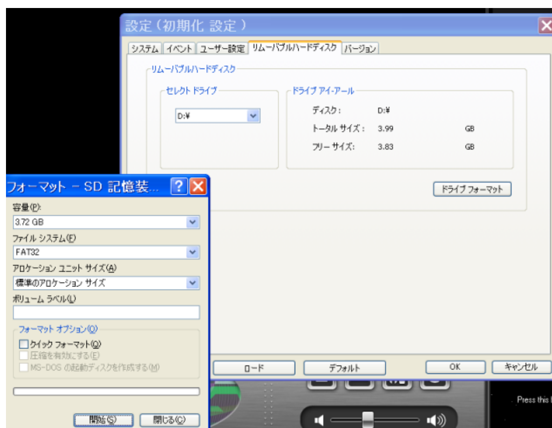
4.各種設定ボタンの説明

◆ **設定** :設定変更や確認時に選択します。

4. リムーバルディスク : リムーバルディスクを初期化する機能です。
（SDHCカード、USBメモリ等）

▸ドライブ選択
リムーバルディスクが何も繋がっていない場合、“不明”と表示されます。
一つ以上のリムーバルディスクが繋がれた場合、
該当するドライブ名とディスク名、全容量、空き容量が表示されます。

ドライブを選択後にフォーマットボタンを押すとフォーマット情報ウインドウが表示されます。以後は一般的な初期化と同じです。

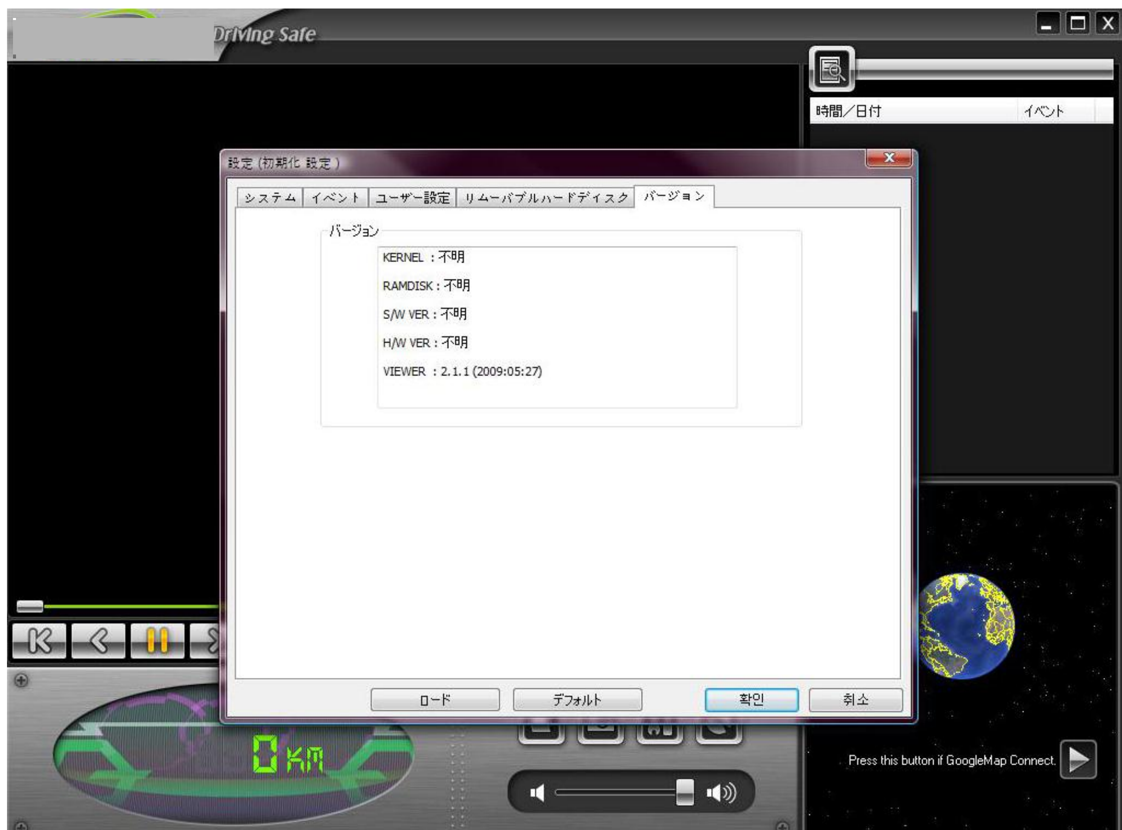


• ディスクを初期化した後、Next-V2X本体にディスクを挿入し、電源を入れると自動的にディスク内に3個のフォルダ(data、update、config)が作成されます。configファイルの中に基本設定値が入っているsystem.cfg ファイルが作成されます。

4.各種設定ボタンの説明

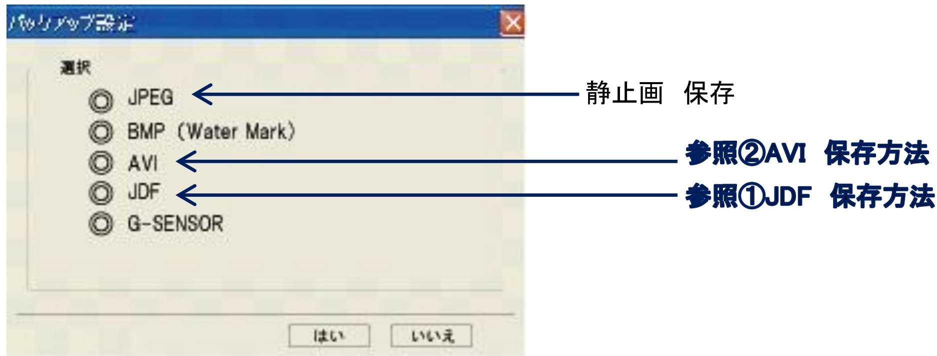
◆ **設定** :設定変更や確認時に選択します。

5. バージョン情報 : 専用ビューワーのバージョン等情報を表示する画面です。



4.各種の設定ボタンの説明

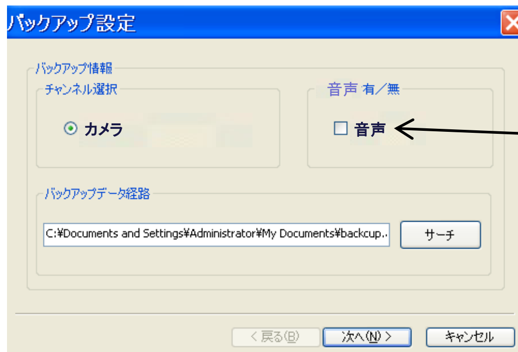
◆ **バックアップ**：閲覧するソフトの種類によって保存方法が異なります。



重要 **提出用データは、②AVI　保存方法　を推奨します。**
（フリーソフト「AVSメディアプレーヤー」閲覧可能）

①JDF　保存方法（ビューアーソフト（専用ソフト）による閲覧方法）

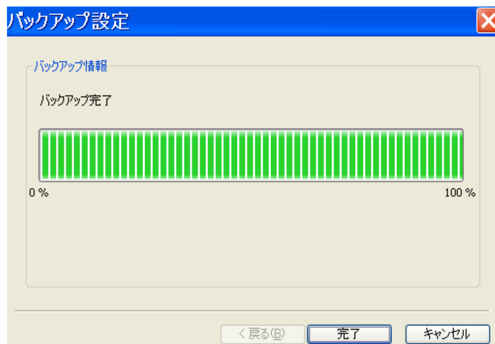
1.音声の有無を選択し、バックアップする場所を選択。「次へ」ボタンを押す。



注意

音声録音が必要な場合は
必ず「チェック」をつけて下さい。

2. バックアップが完了したら、完了ボタンを押す。

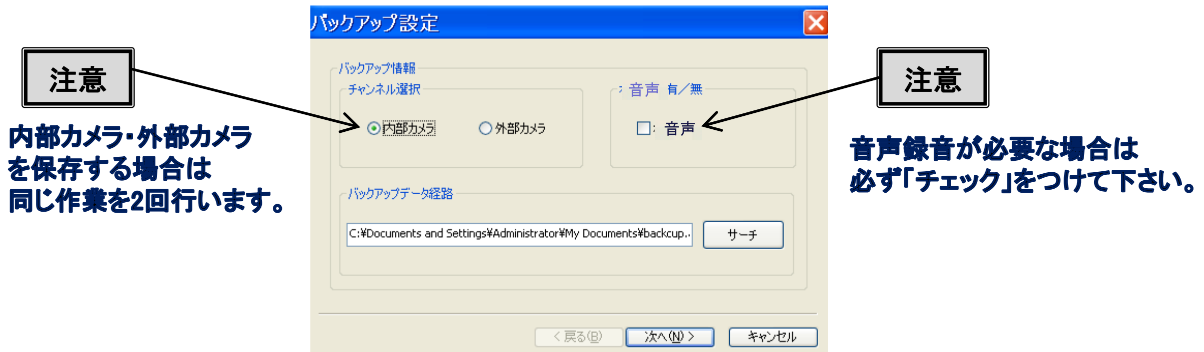


Next-V2X専用ビューアー

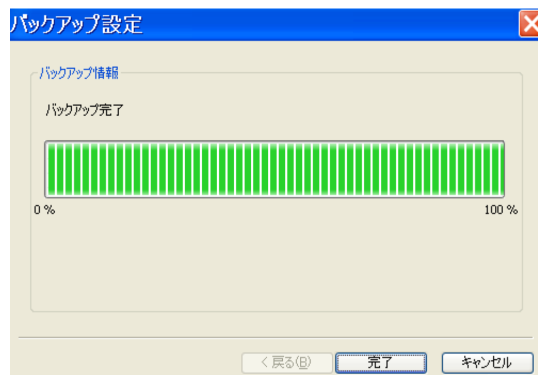
4.各種の設定ボタンの説明

②AVI 保存方法 （AVSメディアプレーヤー（フリーソフト）による閲覧方法）

1. ビューアーで内部カメラ・外部カメラ、音声の有無を選択し、
   バックアップする場所を選択。「次へ」ボタンを押す。



2. バックアップが完了したら、完了ボタンを押す。



重要

AVIデータを閲覧する場合は、メディアプレーヤー（フリーソフト）のダウンロードが必要です。

下記のアドレスでもメディアプレーヤーのダウンロードが可能です。

㈱綾瀬設備工業HP（http://www.ayase-setsubi.com）

「メイン」→「ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰ紹介」→「サンプル動画（AVI形式）動画を再生する」を
下部までスクロールすると「AVS VIDEO Converter」より「AVS Media Player」を
ダウンロードができます。

◆設定値変更及びアップグレード方法

Next-V2Xのファームウエアの機器の設定値変更及びアップグレードは
全てSDHCカードを通して行われます。

◆設定値変更

Next-V2Xビューアーを利用して設定値を変更後、Next-V2X本体にSDHCカードを挿入し、電源を起動して作動させると自動的に変更された設定値が適用されます。

1. 電源を切った後、Next-V2X本体からSDHCカードを取り出します。
2. SDHCカードをPCに接続します。



3. ビューアーを起動します。(12 頁参照)
4. 設定ウインドウの下左端の"ロード"ボタンを押します。(18 ~ 21 頁参照)
   (初めて現われる設定値は初期値です。)
   (実際には、設定前にSDHCカードのconfig フォルダをクリックし、
   その中のsystem.cfgファイルを選択し、「開く」ボタンを押して下さい。
5. 設定ボタンを押して設定値を設定します。(18~19 ページ参照)
6. 4のsystem.cfgファイルを上書きして下さい。
7. ビューアーを終了して、SDHCカードを取り出します。
8. SDHCカードを Next-V2X本体に差し込んで、電源を入れ起動させると
   アップグレード時と同じように自動的に適用されます。

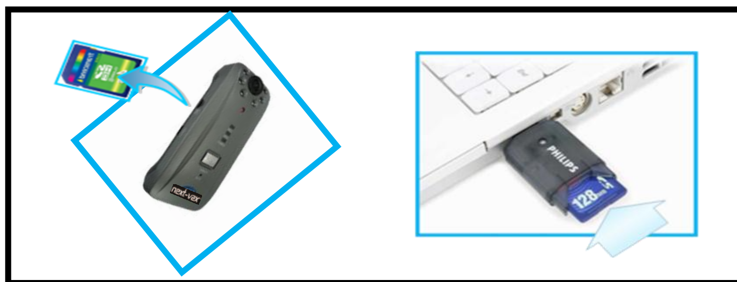


アップグレード

◆**アップグレードされたファームウェアをダウンロードするには**

http://www.ayase-setsubi.com に接続して、ファイルをダウンロードして下さい。
(www.ayase-setsubi.com/ -> 技術サポート -> Next-V2Xサポート -> ダウンロード)

1. Next-V2Xの本体の電源を切った後、本体からSDHCカードを取り出します。
2. SDHCカードをPCに接続します。



3. 上記のウェブサイトからアップグレードファイルをSDHCカード内の update フォルダの中にダウンロードします。

(アップグレードファイルは必ず updateフォルダ内にダウンロードして下さい。)



4. SDHCカードを Next-V2X本体に差し込み、電源を入れて作動させれば自動的に本機のファームウェアはアップデートされます。
(アップデート時は、GPSと REC LEDが点滅し、アップデートが完了すると再度全てのLEDが点灯します。)



注意

アップグレード時には絶対に電源を抜かないで下さい。
途中で電源が切れた場合、本機が故障する恐れがあります。

◆ **設置及び使用時の注意事項**

本機に SDHCカードを差し込む時には、必ず電源を切った状態で差し込んで下さい。

(SDHCカードを差し込んだ後、電源を入れると約 2分ぐらいの起動時間が必要です。
電源を入れてLEDが全て点灯し、一旦、全て消灯します。
その後、正常に起動した場合、2分程の後にRECとPOWER LEDが点灯します。)



＊ アップグレード時には 3～4分ほど RECと GPS LEDが点滅した後、
完了の際にはLEDが再点灯します。

＊ 本機 のアップグレード中は絶対に電源を切らないで下さい。

＊ アップグレード中に電源が切れた場合、本機が故障する恐れがあります。



◆設置及び使用時の注意事項

＊本機はメモリ容量がいっぱいになった場合は、最初に戻り、上書きするようになっています。

＊SDHCカードの容量を考慮して、重要な録画映像は事前にパソコン等に保存しておいて下さい。



注意

電源が入っている状態で SDHCカードを取り出すと自動的に再起動します。

こんな時には

状況	回答
機器の電源が入らない	電源プラグが正確に繋がれているか確認してください
	入力された電源の電圧が正確か確認してください(12V～24V)
	シガーソケットが正しく装着されているか確認してください
	本器機の電源が正確に繋がれた場合にも電源がつかない時には ご購入先に連絡してください
機器の電源は入っているが、 モニターに画面が出ない	モニターケーブルが本体に正確に繋がれているか確認してください
	モニターの電源がついているのか確認してください
	モニターと機器を連結している映像ケーブルが正しく繋がれているか 確認してください
	電源プラグを一旦外して、再度繋げてください
録画した映像がビューアーで 正常とに映らない	前方、室内両カメラに遮蔽物があるか確認してください
	音が聞こえるが、映像が黒く映る場合、VGA ドライブを最新バージョンで アップグレードしてください
	再生時映像が黒く映る場合、ビューアーソフトを一旦終了させて、 再起動してください
	グラフィックカードのドライバーがインストールされているか確認してください
	上記事項を実施しても症状が変わらない場合、ご購入先に連絡してください
機器の電源は正常ですが、 REC LEDが点灯していません。 (SDHCカードに問題がある場合、 約 2分間隔で再起動します)	SDHCカードが正常に本体に差し込まれているか確認してください
	SDHCカードが FAT32でフォーマットになっているのか確認してください
	SDHCカードを長期間使用時、エラーが発生することがあります パソコンでフォーマットした後に使ってください
	SDHCカードが正常かどうか確認してください
	SDHCカードが推奨する仕様かどうか確認してください
	上記事項を実施しても症状が変わらない場合、ご購入先に連絡してください
各種のイベント録画が正常に 作動しない	設定画面で各種のイベントのチェック欄にチェックが入れられているかどうか 確認してください
	衝撃イベントは 道路面、車種によって差があることがあります
	急減速、急加速は GPS受信率によって差があることがあります
	GPS 受信率は車種、車内環境、設置位置によって差があることがあります

参 考 事 項

1. 保証と責任の範囲

➢本機は衝撃等を検知して映像を記録する機器ですが、あらゆる状況において映像を記録することを保証している製品では ありません。

以下の場合などは、衝撃等が検知できず映像が記録できないことがあります。

ー衝撃が弱く、本機が検知するように設定された衝撃センサーの感度に満たない場合

-本機の本体が固定されていない等の取付状態に問題がある場合

➢ 衝撃を検知しても映像が記録されなかった場合や記録された映像データ等が破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については弊社は一切責任を負いません。

➢ 本機は、事故の検証に役立つようにも開発した製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。

2. GPS 注意事項

➢ 周辺環境、車内環境によって受信時間に差があることがあります。

➢ 設置時の注意事項

1> ナビゲーションシステム等とはなるべく離れた位置に設置してください。

2> 取付台に繋がれた GPS ケーブルが上になるように取り付けて下さい。
(7頁参照)

3>電源は 切った状態で接続して下さい。

➢ 受信所要時間

＊本機のGPSは各衛星から送られてくる信号をベースに複雑なプログラムを通じて現在の位置を把握し、速度等表示します。

衛星は地球上を回っているので、時間が経つと当然のことながら位置が変わります。
本機は電源が切れる直前の衛星の位置を記憶しており、
再度電源を入れた場合、以前に電源を切った時間から時間が経てば経つほど
再度衛星の場所を探して受信しようとする為、
再度GPSが正しく受信し、動作するまでに時間がかかることになります。

※ GPSの電源が切れた後で再度電源を入れた時間が短い場合であっても
GPSを起動した際に衛星信号を正しく受信しにくい場所にある場合
(地下駐車場等)には GPS 受信に時間がかかることがあります。

3. SDHCカードの使用時の注意事項

- SDHCカードの推奨使用方法
  1> Next-V2X添付のものを使用することを推奨
  2> SDHC 専用のリーダー機を使用
  3> 本体に SDHCカードを差し込む時に注意(7頁参照)
  4> 製品の正常作動可否を確認するため、週 1回以上データ確認
  5> 1ヵ月 2回以上 SDHCカードを初期化して使用
  6> 信頼性テストが完了されたSDHCカードの使用を推奨

＊SDHCカードの推奨仕様

Sandisk ultra SDHC Class6 (4GB、8GB)

- SDHCカードの抜き差しを行う場合は、必ず本機の電源を切って下さい。
- 一般的にSDHCカードは使用可能な期限がありますので、長期間使用した際には新しいデータを保存することができない事があるかもしれません。
  このような場合には新しいSDHCカードを購入して使用して下さい。
  長期間使用によるデータ消滅に対して弊社は一切の責任を負いません。
- 高温多湿な場所や腐食の恐れがある環境では使用及び保管しないで下さい。
- 保管や運搬時、静電気及び外部の電圧によってデータが破壊される事があります。
  できるだけ保管ケースに入れて保管してください。
- SDHCカード記録及び削除(フォーマット)中、又は再生のためにデータ読み込み中にカードを取り出したり、電源を切った場合、記録したデータが消滅(破損)する事があります。
- 記録したデータの消滅(破損)等について弊社は一切その責任を負いません。
  重要なデータは必ず他のメディア(ハードディスク、CD、リムーバブルディスク等)にコピーして保管して下さい。

参 考 事 項

4. 時間設定

- 国別の時間設定 : ビューワーの設定画面より該当時間帯を選択して下さい。

国別の時間設定が正しくない場合、記録時間が違うことがあります。
GPSから UTC 時間を受信すると自動で国別時間設定された値に変更になります。

5. カメラレンズ

- レンズ部位は常に綺麗に保って下さい。
- 本機を設置したフロントガラスも綺麗に保って下さい。

6. 専用ビューアーのパソコンの推奨仕様

- CPU/Memory : P4 2GHz以上 / 512MB 以上
- OS : Widows XP Home/Pro, Vista
- グラフィック : Direct X 9.0C 以上
- HDD : 200MB 以上の余裕スペース

※ システム仕様によって再生時、映像、音声が途切れる現象が
発生する事があります。

7. エラー

- 下記のようにエラーが発生する場合、SDHCカードを再挿入、同一症状が引き続き発生する場合には SDHCカードを初期化しなければなりません。

1> 電源を入れた後、2～3分以内にREC LEDが点灯しない場合
2> 繰り返し再起動する場合

8. 衝撃イベント

- 衝撃イベントの敏感度は車種類と路面状態によって適用範囲が変わる事があります。

製 品 保 証 書

製 品 名	ドライブレコーダー		モデル名	
Serial NO.			購入日付	
お客様氏名	名　前		電話番号	
	住　所			
購入場所			電話番号	
保証期間	購入日から 1年			

修理を依頼する時は購入日付が記載された本保証書の提示が必要ですので、
必ず保管しておいて下さい。

1. 本製品に対する品質保証は保証書に記載した内容で保証を受けられます。

2. 無償保証期間は購入日付から算定しますので、購入日付を必ず記載して下さい。

3. サービスを受ける場合、弊社または指定された協力会社よりサービスを提供します。

【製造】

社名　Tibet System Co,ltd

住所　6F.Lotte IT Castle 2nd,550-1
Gasan-dong,Geumcheon-gu
Seoul,Korea

TEL　+82-2-822-3922
FAX　+82-2-812-3926

【販売】

社名　株式会社 綾瀬設備工業

住所　〒121-0055
東京都足立区加平1-10-8

TEL　03-5849-2427
FAX　03-5849-2428